

2026年5月12日
株式会社ビズリーチ

川崎重工が「社内版ビズリーチ by HRMOS」を導入

～社員のスキル・経験を可視化、外部採用と社内異動・配置の連動により事業成長を加速～

株式会社ビズリーチ（所在地：東京都渋谷区/代表取締役社長：酒井哲也 以下、当社）は、当社が運営する、社内スカウトで人材流出を防ぐ「社内版ビズリーチ by HRMOS（以下、社内版ビズリーチ）」が、川崎重工業株式会社の精密機械・ロボットカンパニー ロボットディビジョン（所在地：兵庫県神戸市/代表取締役社長執行役員：橋本康彦 以下、川崎重工）に導入されたことをお知らせいたします。川崎重工は「社内版ビズリーチ」の導入により、社員のスキル・経験情報を可視化するとともに、このデータを活用して、社外からの採用と社内の異動・配置転換を連動させた組織づくりを行い、さらなる事業成長を推進します。



■導入背景

川崎重工でロボット事業を手掛けるロボットディビジョンには、新卒採用者からキャリア採用者まで、多様なバックグラウンドを持つ社員が在籍しています。一方で、これまで社員一人一人のスキル・経験、ならびに各ポジション（所属）において求められるスキル・要件の可視化が十分に進んでおらず、社員と業務を最適なかたちでマッチングするための情報基盤が不足している状況にありました。

また、従来は別のタレントマネジメントシステムを活用していましたが、社員およびポジションの可視化を推進する過程において、社内ならびに事業部門特有のスキルや独自の表現等が多く存在し、これらを画一的に定義・体系化することが難しいという課題が顕在化していました。

これらの課題を踏まえ、生成 AI の活用によって社員およびポジションの柔軟かつ高度な可視化を実現すべく、「社内版ビズリーチ」の導入に至りました。

■川崎重工における「社内版ビズリーチ」の活用について：外部採用と連動した社員の異動・配置

「社内版ビズリーチ」を活用し、職務経歴書や目標・評価データ、異動歴などをもとに自動で「社内レジュメ」を生成・更新することで、社員一人一人のスキル・経験情報を常に最新の状態で可視化します。あわせて、各ポジション（所属）における職務要件を定義し、業務遂行に必要なスキル・経験を整理することで、単なるスキル・経験情報の蓄積にとどまらず、社員のスキル・経験と各ポジション（所属）のニーズをデータに基づいてマッチングさせます。これにより、外部採用に加え、社内における潜在的なスキル・経験保持者を活用した異動・配置転換を含めた多様な選択肢を確保し、適所適材による人財配置を通じて事業成長の加速を図ります。

<川崎重工業株式会社 会社概要>

社名：川崎重工業株式会社

事業内容：輸送用機器、エネルギー・環境、産業用設備、レジャー

設立：1896年10月15日

従業員数：40,610人（2025年3月31日時点、連結ベース）

URL：<https://www.khi.co.jp/>

■社内スカウトで人材流出を防ぐ「社内版ビズリーチ by HRMOS」について

「社内版ビズリーチ by HRMOS」は、ビズリーチで蓄積されたデータを学習した生成 AI を搭載し、社内レジュメや社内ポジション要件の自動生成、高精度な人材検索とレコメンデーションを通じて、社内人材と社内ポジションの最適なマッチングを実現するものです。

転職市場のかつてないほどの活性化を背景に、新たな経営課題となっている「人材流出」に対し、社員に魅力的なキャリアの選択肢と可能性を提供する「社内スカウト」活動を進めることで、社員が働き続けたい会社作りを目指します。

URL：<https://hrmos.co/hr-internal-bizreach/>

■株式会社ビズリーチについて

「キャリアに、選択肢と可能性を」をミッションとし、2009年4月より、働き方の未来を支えるさまざまなインターネットサービスを運営。東京本社のほか、大阪、名古屋、福岡、静岡、広島に拠点を持つ。即戦力人材と企業をつなぐ転職サイト「ビズリーチ」、社内スカウトで人材流出を防ぐ「社内版ビズリーチ by HRMOS」、人財活用プラットフォーム「HRMOS（ハーモス）」シリーズ、OB/OG訪問ネットワークサービス「ビズリーチ・キャンパス」を展開。産業のデジタルトランスフォーメーション（DX）を推進するさまざまな事業を展開する Visional グループにおいて、主に HR Tech のプラットフォームや SaaS 事業を担う。

URL：<https://www.bizreach.co.jp/>